

ダンス学科

1年次生

学科名	ダンス学科
科目名	ジャズダンス
担当講師名	毛利あゆみ・佐々木典子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はアーティストの振付やバックダンサーとしての実績があり、ダンススタジオで 20 年以上の指導歴を持ちます。

#### 授業内容

身体の柔軟性・敏捷性を発見し、自分自身の物に出来るように毎回の授業を行っていきます。ジャズの特徴であるアイソレーション・スタンス・リズム・バランスを学んでいきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ウォームアップ・アイソレーションなどを通じて、どこまで自分の身体を思い通りに動かせるようにしていく事を到達目標としていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① 身体の様々な部分を動かし、その方法を学んでいきます。
- ② ダンサーとしてのポジショニング、重心の置き方を学んでいきます。
- ③ 身体の各部分でリズムを取り、その方法を学びます。
- ④ 身体の各部分を細かく刻み、リズムを取り、感じ、表現していきます。
- ⑤ ジャズの基本のウォーキングからステップについてのトレーニングを行っていきます。
- ⑥ ここまでに学んだ身体の使い方、リズムの取り方など試験前の最終確認を行っていきます。
- ⑦ 振付作品を覚えて踊ります。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。踊る為に必要なバランスの良い筋肉の使い方が出来ているか、全身で表現し、テクニックが身に ついているかチェックをしていきます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ 身体を自由に動かし、コントロールする能力を更に強化していきます。
- ⑨ 身体のバランス、ポジションの関係を学んでいき理解して使えるようにしていきます。
- ⑩ ターンに必要な軸を作り、バランス感覚を養い、自分の軸やバランスがどこにあるかを掴んでいきます。
- ⑪ 連続して行うターンの練習をします。軸を感じながら重心移動についても学んでいきます。
- ⑫ ジャンプの応用を行っていきます。筋肉の柔軟性を学び、瞬発力をつけていきます。
- ⑬ 表現方法やクロスフロアで学んだ事のスキルを上げていき、レベルアップをしていきます。
- ⑭ ここまでに学んだターン、ジャンプ、身体の使い方など試験前の最終確認を行っていきます。
- ⑮ 振付作品を覚えて踊ります。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。振付作品の中でイメージを膨らませ、自己表現が出来ているかをチェックしていきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ジャズダンスⅡ
担当講師名	毛利あゆみ・佐々木典子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はアーティストの振付やバックダンサーとしての実績があり、ダンススタジオで20年以上の指導歴を持ちます。

#### 授業内容

正しいポジショニング・バランスを身につけ、身体を自由にコントロールできる方法を学んでいきます。ジャズ特有のフィーリングや美しいラインを全身を使って表現し、想像力の強化とその動きを習得していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

テクニックのレベルアップを目指し、より柔軟な筋力・強い軸をバランスよく身につけ振付にもこれらを活かせるようにすることを到達目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ステップやポージングの組み合わせで、筋肉の動きと軸となる重心移動の動きを確認していきます。
- ②表現の応用をしていきます。手、腕だけでもしっかりと表現が出来るようにしていきます。
- ③表現の応用をしていきます。手、腕で表現できるようになってきたら身体全体を使って表現していきます。
- ④身体のコントロールと想像力を形にするトレーニングを行っていきます。その形を自分がイメージ通りに動いているか確認します。
- ⑤第4回で行ったトレーニングを行い、見た目のバランスや表現など、トータルの完成度を高めていきます。
- ⑥ここまで学んできた、重心移動、バランス、テクニック、表現方法を再確認して試験の為の最終調整を行います。
- ⑦振付作品を覚えて踊ります。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。  
様々なステップや応用を身体全体を使って表現し、作品を通してイメージを膨らませているか、自己アピールがしっかりと出来ているかをチェックします。

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧作品のテーマ・コンセプト・曲を通じてイメージを明確にしていきます。イメージの共有も振付の1つです。
- ⑨作品の振付をしていきます。振付の手、足、身体の動きを正確に覚え、表現できるようにしていきます。
- ⑩引き続き作品の振付をしていきます。振付を覚えてきたら何度も繰り返し、確実な物にしていきます。
- ⑪引き続き作品の振付をしていきます。振りが確実になってきたら表現方法などあっているかのチェックをしていきます。
- ⑫引き続き作品の振付をしていきます。テクニック・表現力の強化を行いこれまでと踊り方を変えていけるようにしていきます。
- ⑬振付を完全に覚えた状態から、よりテクニックを高めるよう踊りこみをしてミスがなくなるようにしていきます。
- ⑭イメージ、動きの正確さ、身体のバランス、テクニックなどトータルの完成度を上げていき、よりよい作品にしていきます。
- ⑮作品発表を行います。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。  
テクニック、表現力がバランスよく出来ていて、自己アピールと共に【見せる】という意識をもってその意識を十分に発揮できているかをチェックしていきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ストリートダンスⅠ
担当講師名	瀧本祐一・水信貴子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はアーティストの振付やバックダンサーとしての実績があり長年に渡りダンススタジオでレッスンを行っている実績を持ちます。

#### 授業内容

ストリートダンスで最も大切なリズムキープを中心に学んでいきます。基本的なリズムの取り方(アップ&ダウン)をマスターしていき音楽に合わせて大きく踊っていきます。普段の生活の中で音楽は欠かせないものです。色々な音楽を聴くことも勉強になります。

#### 到達目標 (この授業で何ができるようになるのか)

基本のリズムキープをまずはマスターします。その後、体を大きく使って自分の動きの幅を広げていきます。また色々な音楽を聴くことで音を体全体で感じていくことを学び、その音楽でのリズムの取り方、音の取り方を自分なりに動き、オリジナリティを作っていきます。

#### 授業計画 (1回目から7回目)

- ①HIPHOP ダンスとは何か、HIPHOP とは何かをダンスだけではなく意味も理解していきます。
- ②リズム取りの基本をマスターしていきます。アップとダウン、理解をして使い分けが出来るようにしていきます。
- ③上半身と下半身の使い方を覚えていきます。どちらか一方だけではなく体全部が連動した動きに出来るようにしていきます。
- ④速い曲に合わせてステップを踏んでいきます。下半身だけにならず、上半身にも気が回っているか見ていきます。
- ⑤アップテンポな曲よりもゆっくりな速さになるのでその分、体を大きく使い、早取りしていないか気を付けていきます。
- ⑥曲の歌詞、雰囲気を考えてその曲にあった強弱を考えて踊り方を勉強していきます。
- ⑦短いコンビネーションを覚えて発表していきます。踊り終わった後に、出来ていなかったところを考えて練習します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。

音楽をしっかりと聞いてリズムを取っているかどうかポイントとなっていきます。リズムの早取り(音よりも早く動く事)に十分に注意をしていき、気持ちよく踊っていれば好評価に繋がります。

#### 授業計画 (8回目から 15回目)

- ⑧現在では HIPHOP と言って様々な種類があります。基礎を使いながら応用をしていきます。
- ⑨色々なリズムトレーニングを行っていきます。HIPHOP のリズム取り以外のリズムも覚え、違いを理解し表現していきます。
- ⑩様々な基本ステップを覚えていきます。基本ステップを覚えたら体全体で表現できるようにしていきます。
- ⑪ターンの行い方を覚えます。ターンを覚えたら単発ではなくステップからの流れで出来るようにしていきます。
- ⑫やや複雑になっているステップの練習をしてマスターしていきます。細かいステップが音楽に合わせて正確に踏めるようにしていきます。
- ⑬フロアー(床)技を覚えます。流れを理解して体を使えるようにしていきます。単発で出来るようになったらステップから繋げていきます。
- ⑭派手に見える技の練習をしていきます。自分を支える筋力があれば出来る物なので最低限の筋力はつけましょう。
- ⑮ステップ、ターン、技が練り込まれたコンビネーションを覚えて発表します。一つ一つの流れを大切にしていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。

HIPHOP ダンスと JAZZ ダンスとの違いを体で理解できていて表現が出来ているかが評価ポイントです。

正確なステップを踏み、流れるような動きができていて力強い技が出来ているかも評価の対象です。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ストリートダンスⅡ
担当講師名	瀧本祐一・水信貴子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はアーティストの振付やバックダンサーとしての実績があり長年に渡りダンススタジオでレッスンを行っている実績を持ちます。

#### 授業内容

HIPHOP を更に追求して動きに幅を出していきます。固い動き、柔らかい動きなどいろいろな動きを正確に使い分けていくことが出来るようにしていきます。曲に合わせてイメージをしていき全体の流れを考えながら踊っていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

それぞれのジャンルの特徴や違いを理解して踊り分けを出来るようにして、様々な自分を表現する事を覚えていきます。色々なステップ、技を覚えたら今度はそれを自分なりに繋げていき色々な流れの中で出来るようにしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①New Jack Swing について学んでいきます。HIPHOP やHOUSE などとの違いを理解して踊り分けをしていきます。
- ②New Jack Swing のリズムトレーニングです。基本的には HIPHOP と同じですがしっかりと違いを理解できるようにしていきます。
- ③New Jack Swing の代表的なステップの練習を行っていきます。リズムキープを意識しながらステップを踏めるようにします。
- ④ここまで習ってきたステップを組み合わせるコンビネーションを踊ります。ステップの繋がりが綺麗に出来るように意識します。
- ⑤技練習を行っていきます。2 クォーターと同様に自分を支える筋力をつけてスムーズに技が繰り出せるように心掛けます。
- ⑥技と技を合わせたコンビネーションを覚えます。闇雲に行うのではなく、頭でイメージをして体を動かしていきます。
- ⑦長めのコンビネーションを覚えて発表します。正確に振付を覚えて自分の個性も取り入れていきます。



#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
ステップと技のバランスを考えながら踊っていき、どちらも体を大きく使える事をポイントとします。体全体でダイナミックに踊りながら、タイミングよく技を決められるかも評価のポイントとします。

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧リズムの取り方にこだわりを持って曲に合わせたリズムトレーニングを行っていきます。リズム取りだけで魅せられるようにしていきます。
- ⑨ストリートダンスでも感情表現であったりその曲に合った表現が必要な事を学んでいきます。
- ⑩アップ、ダウン以外にも前ノリ、後ろノリ、横ノリを使ってそれぞれのバリエーションを増やしていきます。
- ⑪動きにバリエーションをつけていきます。同じステップでも体の使い方一つで見え方が変わる事を覚えます。
- ⑫ここまで習ってきた技の精度を上げていき、10回行って10回出来るようにしていき、自分の武器にしていきます。
- ⑬1年間のまとめに入ります。コンビネーションを覚え、ただ踊るのではなく表現方法などを考えながら踊ります。
- ⑭コンビネーションを覚えて、表現方法も考えながら踊れるようになったらステップや体の使い方の細かいところまで意識します。
- ⑮ここまで習ってきたステップ、技、表現方法を頭に入れコンビネーションを覚えて発表をします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
表現方法が自分よがりにならず、曲であったり振付者の意図を理解して踊っているかがポイントになります。ストリートダンスの中でも色々あるジャンルをそれぞれ表現できているかもポイントとします。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	オールドスクール I
担当講師名	太田幸希
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はオールドスクールのレッスンを多数受け持ち、「よさこい」など多種多様なレッスンを行っている実績を持ちます。

#### 授業内容

SOUL DANCE・LOCK DANCE・HOUSE DANCE の基礎を学んでいきましょう。動きだけではなく、ステップやムーブに纏わる歴史なども一緒に覚えていきます。コンビネーションや振り付けも正確に踊れることを目指した上でダンサーとしての個性も磨いていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ストレッチ・アイソレーション・リズムの基礎を高めつつ、ジャンルの特性も同時に高めていきます。ムーブ・ステップの音取りやリズムがそれぞれのジャンルで異なります。理解して使い分けができるようにしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①LOCK DANCE&SOUL DANCE 特有のリズムの基礎的な部分を覚えていきます。
- ②LOCK DANCE&SOUL DANCE 特有のリズムを覚えたら何度も練習して自分の物にしていきます。
- ③LOCK DANCE&SOUL DANCE 代表的なムーブ・ステップを覚えていきます。
- ④LOCK DANCE&SOUL DANCE 代表的なムーブ・ステップを覚えたら何度も練習して応用も覚えていきます。
- ⑤ステップやムーブを組み合わせてコンビネーションを覚えていきます。
- ⑥より高度なステップやムーブを組み合わせてコンビネーションを覚えていきます。
- ⑦振り付けを覚え正確に踊り、かつ LOCK, SOUL ダンスを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常 20%とします。

LOCK ダンス、SOUL ダンスのジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。また形や止め方など、正確に踊りこなすだけでなく個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧HOUSE DANCE 特有のリズムの基礎的な部分を覚えていきます。
- ⑨HOUSE DANCE 特有のリズムを覚えたら何度も練習して自分の物にしていきます。
- ⑩HOUSE DANCE 代表的なムーブ・ステップを覚えていきます。
- ⑪HOUSE DANCE 代表的なムーブ・ステップを覚えたら何度も練習して応用も覚えていきます。
- ⑫HOUSE DANCE 細かくて高度なムーブ・ステップを覚えていきます。
- ⑬ステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
- ⑭より高度なステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
- ⑮振り付けを覚え正確に踊り、かつ HOUSE ダンスを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常 20%とします。

HOUSE ダンスのジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。またリズムキープしたまま細かいステップを正確に踊りこなし、個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	オールドスクールⅡ
担当講師名	太田幸希
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はオールドスクールのレッスンを多数受け持ち、「よさこい」など多種多様なレッスンをを行っている実績を持ちます。

#### 授業内容

SOUL DANCE・LOCK DANCE・HOUSE DANCE・PUNKING の基礎を学びます。動きだけではなく、ステップやムーブに纏わる歴史なども一緒に覚えていきます。アクロバティックな大技も取り入れ、動きの引き出しを増やしていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

引き続き、1 クォーターで学んできた基礎の練習をして活かしながら、そのジャンルの独自の音遊びが出来るにしていきます。基礎を理解して表現できるようになっていきたら応用も学んでいき、それぞれのジャンルの踊りをマスターしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①PUNKING 特有のリズムの基礎的な部分を覚えていきます。
- ②PUNKING 特有のリズムを覚えたら何度も練習して自分の物にしていきます。
- ③PUNKING 代表的なムーブ・ステップを覚えていきます。
- ④PUNKING 代表的なムーブ・ステップを覚えたら何度も練習して応用も覚えていきます。
- ⑤ステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
- ⑥より高度なステップやムーブを組み合わせコンビネーションを覚えていきます。
- ⑦振り付けを覚え正確に踊り、かつPUNKINGを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常 20%とします。  
PUNKING というジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。腕の出し

方、リズムの取り方を正確に表現し、個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧代表的なステップやムーブに LOCK ダンスで使われる大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
- ⑨より高度な代表的なステップやムーブに大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
- ⑩代表的なステップやムーブに HOUSE ダンスで使われる大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
- ⑪より高度な代表的なステップやムーブに大技やフロアムーブなどを入れ込んでいきます。
- ⑫色々なジャンルを混ぜた上で、各ジャンルの特性をうまく引き出せるようにしていきます。
- ⑬特性を引き出せるようになってきたら、細かい部分まで気を使って振付を覚えていきます。
- ⑭各ジャンルを使ったソロ作り、その特性が活かしているか確認していきます。
- ⑮振り付けを覚え正確に踊り、かつ各ジャンルダンスを取り入れたソロも踊れるか確認していきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常 20%とします。  
各ジャンルの特性がうまく表現できているか確認していきます。正確に踊りこなすだけでなく個性もアピールできるかどうかを評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	クラシックバレエ I
担当講師名	佐々木典子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は多数のスタジオでバレエのレッスンをを行う実務経験を持ち、主にジャズダンスを踊る中で必要なバレエテクニックの習得をしていきます。

#### 授業内容

クラシックバレエはあらゆるダンスの基本となります。自身の身体についての理解を深め、ほかのジャンルに繋がる知識を身に付けます。春学期は基本的な身体のポジションや使い方を覚えて身体の軸を意識しターンやジャンプ等の基本的な動作を反復して練習します。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

クラシックバレエの基本姿勢、基本動作を理解し、ダンサーとしての身体作りの基盤を作ります。自身の身体の特質を理解し、ケアしながら踊れる身体作りを目指します。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①基本的なストレッチやトレーニングを通して正しい姿勢や筋肉の使い方を学んでいきます。
- ②1～6までの足のポジションを覚えて簡単な内容からバーレッスンに入っていきます。
- ③少しずつ動きを広げながらバレエに必要な身体のポジションを覚えていきます。
- ④正しいポジション、正しい動作を覚えているか、覚えたら正しく行えているか丁寧に確認していきます。
- ⑤バーレッスンにおける簡単な動作を繰り返し行っていきます。繰り返し行う事でパターンを覚えていきます。
- ⑥繰り返し行ってきたバーレッスンの順番を覚えるだけでなく、より正確に動かせるようにしていきます。
- ⑦バーレッスン①②で行ってきた内容の確認をして覚えているか、正しく行えているかを採点していきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。

基本姿勢を身に付けているか、正しいポジションを覚えているか、正しく理解して使えているかを採点します。1 回やっただけでは出来ない動きもあるので反復練習が必須になります。

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧バレエに必要なアン・ドゥオールを意識を、バーレッスンの中で丁寧に解説していきます。
- ⑨回転時に美しい姿勢を保つためのバランスを学びます。身体の軸がどこにあるのかを感じ、覚えていきます。
- ⑩移動せず片足で回転します。力で回ろうとせず、正しい形、流れを覚えて回転するようしていきます。
- ⑪伸ばした片足を軸に回転しながら移動していきます。体重移動を考えながら練習をしていきます。
- ⑫ステップを交えたピルエットの練習を行っていきます。どの形からでも確実に回れるようしていきます。
- ⑬ピケターンやシェネを交えたコンビネーションを練習していきます。それぞれのターンの行い方を意識します。
- ⑭様々なターンを交えたコンビネーションを練習していきます。1 つ 1 つ確実に回れるようしていきます。
- ⑮ターン コンビネーション⑭⑮で行ってきた内容を採点します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。

様々なターンの種類と特質を理解し、基本のポジションを通り適切な形で行えているかを採点していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	クラシックバレエⅡ
担当講師名	佐々木典子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は多数のスタジオでバレエのレッスンをを行う実務経験を持ち、主にジャズダンスを踊る中で必要なバレエテクニックの習得をしていきます。

#### 授業内容

秋学期はジャンプを中心に授業を行っていきます。小さなジャンプから大きなジャンプまで、様々な種類のジャンプを覚えます。基本を踏まえる事で更に高度なテクニックへと発展できるよう解析していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ジャンプに必要な瞬発力、跳躍力を身に付け、一つ一つの動きを正確に理解しアンシェヌマンを行えるようにします。アンシェヌマンの流れを理解する事により、踊りの流れや滑らかさが備わります。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ジャンプについての基本動作を確認していきます。重心の移動を意識します。
- ②両足でのジャンプについて解説していきます。両足で飛ぶので力のバランスを考えていきます。
- ③片足でのジャンプや移動を伴うジャンプについて解説していき実際に飛べるようにしていきます。
- ④より大きなジャンプへ向けてのトレーニングを行います。力のバランスを考えて練習していきます。
- ⑤グラン・ジュテやグラン・パ・ドゥ・シャについて解説していき実際に飛べるようにしていきます。
- ⑥スモールジャンプ、大きなジャンプをそれぞれアンシェヌマンにて行っていきます。
- ⑦授業内で行ったスモールジャンプ、大きなジャンプのアンシェヌマンを採点していきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準



出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。  
跳躍時の基本動作を踏まえて様々な種類のジャンプを覚えて実践できているかどうかを採点していきます。

#### 授業計画（8回目から 15回目）

- ⑧アレグロ中心のアンシェヌマンを行っていきます。
- ⑨アレグロ中心のアンシェヌマンを更に発展させた内容で行っていきます。
- ⑩3拍子のリズムで踊ります。リズム感を失わずに踊れるようにしていきます。
- ⑪更に発展させた内容で授業を進行していきます。基本を忘れずにしていきます。
- ⑫大きなジャンプのアンシェヌマンを中心に行っていきます。力任せに飛ばないようにしていきます。
- ⑬更に発展させた内容で授業を進行していきます。基本を忘れずにしていきます。
- ⑭更に発展させ、より高度な内容で授業を進行していきます。基礎を疎かにしていると難しく感じる事もあります。
- ⑮授業内で行ってきた様々なアンシェヌマンを採点していきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 30%、テスト 50%、平常点 20%とします。  
様々なジャンプの種類と特質を理解し、基本のポジションを通り適切な形で行えているか採点していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	コンテンポラリージャズ I
担当講師名	大久保昌美
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はテーマパークでのショーダンサー、アーティストのバックダンサーなどを務め、長年に渡りダンススタジオで指導を行っています。

#### 授業内容

ダンサーになる為の身体をじっくりと作っていきます。柔軟性を高め、筋力アップをしながら身体の仕組みを学びます。心技一体を整え、自分の身体を開発していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

自分の身体の体格、体質を知りボディーメイクしていきます。基本的な動きを学び、反復練習の重要性を実感しながら、自分の体の動かせる範囲を増やしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①人間の骨格を理解し、姿勢を整えてバランス良く立ちます。自分の中心と自分の弱点を見つけます。
- ②人間の基本的な動作「吸う・吐く・止める」を観察し、身体を最大限に動かせる呼吸を見つけます。
- ③ポジションと呼吸法を修得し、筋肉の伸縮を利用して身体の伸び・縮みを観察していきます。
- ④ポジションと呼吸法を修得し、筋肉の種類・特徴を理解し、自分の弱点を補うトレーニングをしていきます。
- ⑤1～4を取り入れたアップを覚えて、身体を隅々まで大きく動かしていきます。
- ⑥呼吸の整え方、筋肉のほぐし方、トレーニング後のケアを学び、クールダウンの重要性を理解していきます。
- ⑦短い振付を覚え、皆の前で、身体を大きく使って踊ります。

#### 中間試験評価方法・評価基準

【出席40%・テスト30%・平常点30%】 バランスの取れた姿勢、整った呼吸、しなやかな動きと力強さで大きく踊れるようになったかを見ます。毎日のトレーニングが重要

です。出欠席、レッスン態度を厳しく評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧呼吸で「吐く」時に収縮（contraction）する動き。身体を力強く使う為のテクニックを学びます。
- ⑨呼吸で「吸う」ときに弛緩（release）する動き。身体をしなやかに使う為のテクニックを学びます。
- ⑩収縮（contraction）と弛緩（release）をバランスよく使うテクニックを学びます。
- ⑪上体を引き上げたポーズを取りキープします。呼吸法により動きを留めるテクニックを学びます。
- ⑫腕の運びを覚えます。正しいポジション（姿勢）で腰・背中・肩・首が連携する腕の動きを学びます。
- ⑬身体の各部位を動かします。骨格と筋肉の役割を理解しながら、細かい振付に対応できる動きを学びます。
- ⑭⑧～⑬を取り入れたアップを覚え、身体に染み込ませていきます。
- ⑮振付を覚え、皆の前で踊る。イメージ通り動けたか、何が足りないか考え、次の目標を決めます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

【出席40%・テスト30%・平常点30%】体のつくりを理解し、ダンサーに必要な筋力、柔軟性、持久力が身に付いてきたか、呼吸を伴いダイナミックに踊れるようになったかを評価します。レッスン中の取り組む姿勢、持続性、集中力等の精神面も評価します。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	コンテンポラリージャズⅡ
担当講師名	大久保昌美
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はテーマパークでのショーダンサー、アーティストのバックダンサーなどを務め、長年に渡りダンススタジオで指導を行っています。

#### 授業内容

春学期で身に付けた基礎を応用していきます。ターン、ジャンプ、フローアのプレパレーションを覚え、組み合わせたコンビネーションを踊ります。体重移動のコントロール、洗練されたラインを学びます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

振付を踊る際に、身に付けた基礎を発揮し、自信をつけます。イメージを膨らませ、手先（身体）と顔に表情を出し、より大胆でダイナミックな動きにしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①基礎の軸（中心）を取り、ピルエット・ピケ・シェネを学びます。体重移動が正確にできるよう練習します。
- ②アン・ボアテ、グランジュッテ。重心をコントロールし正確なプレパレーションからのジャンプを学びます。
- ③重心を腰より下におろし、床での動きを学びます。四つん這いで体重移動します。
- ④立位から床へ入ってゆくテクニックです。背面からのバックロール、座位からのバックロールを学びます。
- ⑤ターン&ジャンプから床へ入るコンビネーションをします。身体の反動を使った滑らかな動きを学びます。
- ⑥床でのターン&ジャンプコンビネーションです。柔軟性と筋力を要求され、丁寧に取り組む方法を学びます。
- ⑦振付を覚え、皆の前で踊ります。イメージ通り動けたか、何が足りないか考え、次の目標を決めます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

【出席40%・テスト30%・平常点30%】軸を取り、重心の移動、正確なプレパレーションが出来ているか、余計な力を解き全身をしなやかに使ってダイナミックに動いているか、モチベーションを高くし、日々の反復練習を怠っていないか厳しく評価します。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧基礎を応用します。振付を正確に覚え、曲を聴き、動きの流れや強弱を確認していきます。
- ⑨覚えた振付を曲に合わせてイメージを膨らませます。周りの人の踊りもよく見てみましょう。
- ⑩繰り返し踊り、曲と動きをなじませていきます。動きが小さくなっていないか確認します。
- ⑪覚えた振付にフォーメーションをつけていきます。全体を把握して、自分のポジションをキープして踊ります。
- ⑫振付を踊りながら移動します。周りのダンサーと動きを合わせ、自分の導線をキープします。
- ⑬繰り返し踊り込みます。ダンサーの呼吸を揃え、作品の空気（雰囲気）を作っていきます。
- ⑭振付を細かく掘り下げ、作品の中に自分の存在を表現していきます。
- ⑮作品発表です。イメージ通り作品を踊れたか、どのように伝わったか、次の目標を決めます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

【出席40%・テスト30%・平常点30%】正確な動き、柔軟性、しなやかにダイナミックな動きが出来ているかを見ます。モダンダンスの振付を理解し、曲と動きをマッチングさせ作品の中で自己表現できているかも重要です。1年間の成長を評価します。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	タップダンス I
担当講師名	竹田祐子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はジャニーズ公演やミュージカル「ビリー・エリオット」振付指導、CM・映画出演、バックダンサーなど実績があり、多数のダンススタジオでレッスンをを行っている実務経験があります。

#### 授業内容

ダンスの中でも一見特殊に思えるタップダンスですが、進行するにしたがって楽しくなってくるのがこのダンスの魅力です。リズムを耳で覚え、目で見ても真似し、身体全体を動かしながら同じことを繰り返して身に付けていきます。基本を大切に。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1クォーターでは基本のステップを、2クォーターでは基本のステップを組み合わせたステップを習得していきます。店舗も含めて足の動きを無理なくスピードアップできるようにします。またコンビネーションを覚えて踊る事に慣れていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①タップ用の靴の構造を理解し、タップとはどんなものなのかを知っていきます。
- ②基本の足の使い方を覚えていきます。それぞれの使い方を覚えて使い分けをしていきましょう。
- ③音の出し方と足の使い方を覚えていきます。どんだん音を鳴らしていきましょう。
- ④シャッフルとの違いに気をつけながら練習をしていきます。使い分けが出来るようにしていきます。
- ⑤タップダンスの音楽的な要素「リズム」について勉強していきます。他のダンスにも応用していただけます。
- ⑥これまでに習ってきたステップを組み合わせ、それぞれの違いを理解して踏めるようにしていきます。
- ⑦振付を覚えて少人数で発表をしていきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
実技による評価となります。出席をした際に得られる貴重なポイントの説明によって平常点はもちろん、テストの段階ではかなりレベルアップできるものと思います。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧シャッフルとの違いに気をつけながら練習をしていきます。使い分けが出来るようにしていきます。
- ⑨ステップを覚えて練習をします。ステップを覚えたら形も意識していきます。
- ⑩正確な音が出せるように練習していきます。最初は出せなくても必ず出せるようになります。
- ⑪複数のパターンを覚えます。ステップを覚えたら上半身の動きもつけていきます。
- ⑫足と体の使い方の説明を行い、実際にターンをしていきます。
- ⑬何度も繰り返し練習をして、ターンだけでなく音を鳴らせるようにしていきます。
- ⑭これまでのステップを組み合わせて実際に音を鳴らせるようにしていきます。
- ⑮振付を覚えて少人数で発表をしていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
実技による評価となります。それぞれのステップの使い分け、音の出し方を理解しているか、普段の授業をしっかり受けていれば必ず理解できるものと思います。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	タップダンスⅡ
担当講師名	竹田祐子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はジャニーズ公演やミュージカル「ビリー・エリオット」振付指導、CM・映画出演、バックダンサーなど実績があり、多数のダンススタジオでレッスンをを行っている実務経験があります。

#### 授業内容

前期で習得した足の動きをさらに磨いて、シャープな動きとパンチあるハードな動きを覚えます。さらに重心の移動を覚えることで、アクセントをどこで決めることができるかを知ります。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

前期で習得した足の動きをさらに磨いて、シャープな動きとパンチあるハードな動きを覚えます。さらに重心の移動を覚えることで、アクセントをどこで決めることができるかを知ります。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①2クォーターで行ったステップ、ターンがマスターできているかの確認をします。
- ②ステップを覚えて何度も練習をします。音が正確に出せているかチェックしていきます。
- ③色々なパターンを覚え、徐々に早くステップを踏む練習をしていき、音が確実に出せるようにしていきます。
- ④足の使い方を練習します。身体の重心がどこにあるか考えながら練習していきます。
- ⑤足と体を同時に使って練習します。確実に音が鳴らせるようにしていきます。
- ⑥これまでのステップを組み合わせて踊り込みをします。各ステップを理解しているか確認もしていきます。
- ⑦少人数で振り付けを踊ってテストします。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。



この時期の作品制作等による評価もあると思います。作品の中での動き、また努力などの評価はかなり大きくなるので、こうしたことに大いに力を入れていきましょう。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧3 クォーターで行ったステップや技をマスターできているかの確認をします。
- ⑨細かい足の使い方を習得していきます。足先だけにならず踊っていることを心掛けます。
- ⑩プルバックの応用技です。プルバックを理解して踏めているかがここでははっきりわかります。
- ⑪何度も繰り返し練習をして、音を鳴らせるようになっていきます。音が鳴るようになったら綺麗にならせる事を意識します。
- ⑫足の使い方を練習します。身体の重心を考える上達が速くなります。
- ⑬足と体を同時に使って練習しましょう。ステップの踏み方を理解して確実に音を鳴らせるようにしていきます。
- ⑭これまでのステップを組み合わせて踊り込みをします。技の行い方を理解しているかここでわかります。
- ⑮少人数で振り付けを踊ってテストします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
授業をしっかり受けていれば必ず、かなりレベルアップできる頃です。差がつくのもこの頃です。しっかり休まず受けることを勧めます。欲が出て極めに入るのもこの時期です。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	シアタージャズ A I
担当講師名	町田歩美
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は15年以上レビューダンサーとして定期的に舞台に立っております。又、アーティストのバックダンサーや役者としての実績もあり、映像舞台問わず演者として多くの経験を持ちます。

#### 授業内容

ジャズの基礎と柔軟性、テクニックを身につけ、シアタージャズに必要な基本的な歩き方や身体の使い方を習得していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

ピルエットやシェネ、ジャンプ等の基本的なテクニック習得に加え、美しい身体のラインを意識した動きを振付に活かせることを到達目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①シアタージャズというものを理解し、ウォーミングアップ、呼吸法などを学んでいきます。
- ②前回のエクササイズに加え、正しいポジションやジャズの基礎となる動きを中心に学んでいきます。
- ③シアタージャズならではの身体の絞りを活かし、ウォーキングや基本的なステップを中心に学んでいきます。
- ④ピルエット、シェネ等といった基本的なテクニックをクロスフロアで行います。
- ⑤第2回～4回で行ってきたことを反復します。
- ⑥これまでに学んできた、基礎、テクニックなどを取り入れた振付を行います。
- ⑦課題振付を人前で踊ります。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 20%、テスト 50%、平常点 30%とします。  
基礎、テクニック、身体の使い方の正確性、学んだことを振付の中で活かしているかをチェックします。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧第1クォーターの内容に加え、体幹トレーニング、重心移動を中心に学んでいきます。
- ⑨基礎を更に深掘りしていきます。足の指先で床をしっかり捉えられるようにトレーニングを行います。
- ⑩クロスフロアではテクニックと基本ステップを織り交ぜて行います。
- ⑪これまでの内容を引き続き行います。
- ⑫作品の振付をしていきます。まずは正確に覚えましょう。
- ⑬引き続き振付を行います。アームス、指先まで意識させる見せ方のポイントについて学びます。
- ⑭音の捉え方、イメージ、動きの正確さ、テクニックなどトータルの完成度を上げていきます。
- ⑮作品発表を行います。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 20%、テスト 50%、平常点 30%とします。  
振りは正確に出来ているか、音をしっかりと聴けているか、自分なりのイメージがしっかりと表現されているか等をチェックします。第1、2クォーターのまとめとしてフィードバックを行います。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	シアタージャズ AⅡ
担当講師名	町田歩美
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は15年以上レビューダンサーとして定期的に舞台に立っております。又、アーティストのバックダンサーや役者としての実績もあり、映像舞台問わず演者として多くの経験を持ちます。

#### 授業内容

技術面は勿論、シアタージャズならではの指先まで気を使える繊細さと、広い空間を意識した表現方法を習得していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

テクニックのレベルアップを目指し、表現方法の幅を広げます。与えられた役と向き合う事で演じることを理解し、振付にもこれらを活かせるようにすることを到達目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①基礎と基本的なテクニックの精度を上げていきます。
- ②繰り返し行います。振付をすぐに覚えるトレーニングとして、クロスフロアーは長めに設定します。
- ③繰り返し行います。振り間が滑らかになるよう各部位のつながりを感じながら踊りましょう。
- ④振付を行います。まずは正確に覚えましょう。
- ⑤引き続き振付を行い、身体に落とし込みます。
- ⑥広い空間を意識した表現方法を学びます。
- ⑦振付作品を踊ります。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 20%、テスト 50%、平常点 30%とします。  
振りの正確さ、テクニックの精度と、空間を意識した表現が出来ているか等をチェックします。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧作品の振付を行います。テーマ・役柄・曲を通じてイメージを明確にしていきます。
- ⑨引き続き作品の振付をしていきます。手足の動きだけではなく身体の使い方や重心移動も正確に覚えましょう。
- ⑩引き続き作品の振付をしていきます。何度も繰り返し、正確に身体に落とし込みます。
- ⑪引き続き作品の振付をしていきます。フォーメーションにおける各々の役割りを理解しましょう。
- ⑫引き続き作品の振付をしていきます。振りを覚えてきたら表現方法について更に追求していきましょう。
- ⑬振付を完全に覚えた状態から、テクニック・表現力の強化を行いダイナミックかつ繊細に踊れるよう繰り返し練習します。
- ⑭作品全体を通じて個々が立っているか等バランスを整えていき、精度を上げていきます。
- ⑮作品発表を行います。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 20%、テスト 50%、平常点 30%とします。  
テクニック、表現力がバランスよく出来ていて、与えられた役をしっかりと演じきれているか等をチェックしていきます。一つの作品を時間かけて育てることにより、それぞれがどのように取り組んできたかなど、協調性や創作意欲のチェックも評価の対象となります。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	テーマパークダンス A I
担当講師名	新妻依里香
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は東京ディズニーリゾートでパレードやショーダンサーとして実務経験をもつ。また、ユニバーサルスタジオジャパン・サンリオピューロランド・よみうりランド・としまえん・大分城島高原パークのシーズンイベントに多数出演経験があり、全国のテーマパークエンターテイメントを熟知している。

#### 授業内容

テーマパークエンターテイナーとはどのような職業であるのかを知り、全国のテーマパークエンターテイナーに通ずる基礎を学びます。パフォーマンスの土台となるバレエ基礎をはじめ体力・筋力強化、想像力を広げ表現をしていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

春学期では基礎力と筋力強化で怪我をしにくい体づくりを身に付け、様々なテーマパークエンターテイメントにまず興味を持ち、特性を理解してテーマパークエンターテイナーに求められる幅広いパフォーマンスの習得を到達目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①年間の授業内容やテーマパークとはどのようなところで、エンターテイナーとはどんな仕事かを説明します。自分なりのエンターテイナー像を想像してグループディスカッションをします。またエンターテイナーには欠かせない笑顔やリップシンクの練習法を学びます。
- ②全国のテーマパークエンターテイナーに必要な基礎トレーニングをします。自分の弱いところ、得意で伸ばしていけるところをしっかりと自分自身で分かることが大切です。
- ③クロスフロアにフォーカスをおき、基礎トレーニングの応用に繋げていきます。テーマパークオーディションで第一関門となるクロスフロアでの見せ方やアピール力も一緒に身に付けていきます。
- ④引き続き基礎トレーニングを大事にしながら、30秒ほどの振付へと応用していきます。テーマパークで実際に使われている音楽に合わせまずはイメージを持って身体を動かしていきます。
- ⑤第4回に引き続き、正しく振付を覚えられているか細かくチェックします。その上で表現力を深めていきます。

- ⑥実際のエンターテイナーオーディションで用いられている方法で、基礎力のチェックと1分ほどの振付を覚えて踊り、確認をして試験の為の最終調整をします。
- ⑦基礎力チェックと振付作品を覚えて踊ります。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
テーマパークエンターテイメントを理解し、しっかりイメージをして表現をすること。自分の身体ときちんと向き合っているかをチェックします。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧テーマパークエンターテイメントにおける MC について学びます。パフォーマンスの中で分かりやすく声を出し、ゲストを誘導するテクニックを身につけます。
- ⑨パレードのように歩きながら振付を踊ります。ゲスト役キャスト役に分かれて、ステージショーとの違いを見つけ、表現方法を変えていきます。
- ⑩ステージショーを意識して、振付を踊ります。第 9 回での内容を踏まえ、見せ方を変えて踊ります。
- ⑪ストリートダンスの要素が強い振付を踊ります。近年のテーマパークエンターテイメントはストリート要素を求められる事がとても多いです。バレエ・ジャズ以外も踊れるようにしていきます。
- ⑫シアター系の振付を踊ります。曲に合わせた見せ方・ジャズのテクニック強化をします。
- ⑬テーマパークで使用されたラテンミュージックの振付で、情熱的な感情を踊りで表現します。
- ⑭テーマパークで使用された夏シーズンの楽曲で、期末テストの準備をします。踊るだけでなく、見ている人への掛け声なども交え引き込み方の研究をします。
- ⑮第 14 回の内容で、作品発表をします。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
楽曲のイメージに合わせて踊ることができているか、声を出すことや歌うことを恥ずかしがらずに、見ている人を引き込むパフォーマンスができているかを評価します。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	テーマパークダンス AⅡ
担当講師名	新妻依里香
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師は東京ディズニーリゾートでパレードやショーダンサーとして実務経験をもつ。また、ユニバーサルスタジオジャパン・サンリオピューロランド・よみうりランド・としまえん・大分城島高原パークのシーズンイベントに多数出演経験があり、全国のテーマパークエンターテイメントを熟知している。

#### 授業内容

パフォーマンスに必要な基礎・体力の強化と共にエンターテイナーとして大切な身体の自己管理にも努めていきます。怪我をしない筋力や柔軟性をつけ、可動域を広げることでパフォーマンスの質を高めます。またただ踊るだけでなく、求められているキャラクター性をより深く理解し演じていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

春学期から積み重ねてきた基礎を応用として伸ばしていきます。より柔軟に身体を使い、テクニックの強化と親しみやすさを出すパフォーマンスを意識しながら、表現力に厚みを出し、役柄によって演じ分けのできる対応能力を身に付けることを目標とします。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①ハロウィンナンバーでひとつひとつの動きを大切に、指先や歩き方でしっかりと表現できるようにしていきます。
- ②引続きハロウィンナンバーを踊っていきます。役柄を理解し、その役柄にあった表情や目線、動きができるようにしていきます。
- ③テーマパークのキャラクター演習をします。ダンサーとの表現法の違いを見つけ、与えられたキャラクターとして表現したいことを形にするトレーニングを行います。
- ④クリスマスナンバーを曲のイメージに合わせて踊っていきます。正しいポジショニングで振付を覚えられているかが重要です。
- ⑤クリスマスナンバーにフリーダンスパートを入れ、ダンサー・キャラクターを各自で選びパフォーマンスをします。
- ⑥グループに分け、フォーメーションをつけて踊ります。今までのような個人ではなく、グループとしての自分の役割や表現、見せ方を学びます。
- ⑦グループ発表をします。



#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
曲や役柄に対してより理解を深め、表現できているかをチェックします。仲間の良いところをしっかりと見つけ、自分の表現にプラスするなど授業内での取り組みが評価に繋がります。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧作品の振付をしていきます。限られた時間の中でいかに正確に振付を覚えられるかがオーディション対策にも繋がります。
- ⑨引続き作品の振付をしていきます。動きのポジショニングが正しくできているかをチェックします。またテクニック部分での課題を明確にします。
- ⑩引き続き作品の振付をしていきます。振付をただ踊るのではなく、しっかりと自分の表現にできるように繰り返し練習をしていきます。
- ⑪引き続き作品の振付をしていきます。テクニックや表現方法をチェックし合い、作品のイメージを共有します。
- ⑫引き続き作品の振付をしていきます。同時に今までの振付で曖昧になっているところがないかチェックをし、ミスがなくなるようにしていきます。
- ⑬作品全体を通し、テクニックや表現方法などトータルの完成度を上げていきます。
- ⑭作品のイメージに合わせた、衣装を着て動きの見え方のチェックをします。テーマパークエンターテイメントの現場ではとても大切な工程です。衣装に負けないパフォーマンスを目指し最終調整をします。
- ⑮作品発表を行います。1年間の集大成です。実際にゲストに見られていると思ってパフォーマンスをしましょう。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、テスト 30%、平常点 30%とします。  
テーマパークエンターテイメントをどれだけ理解し真剣に向き合い、オーディションに必要なアピール力や見ている人を惹きつけるパフォーマンス力が身についているかを評価します。また2年次に向けて各自の課題をみつけ、将来の目標を明確にしていきましょう。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ヴォーカルパフォーマンス I
担当講師名	嶋村祐子
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

SONY など大手レコード会社や事務所でレッスン（剛力彩芽・入山杏奈等）を行い、アーティストのレコーディング参加、ライブレッスンを行っている実務経験があります。また、本校卒業生のプライベートレッスンも行っています。

#### 授業内容

発声の基礎を学び自分の中にある声を響かせ伸びやかに楽しく歌うためのトレーニングをしていきます。リズム感も磨き身体全体で表現出来るようにしていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

身体を楽器としてコントロールできるようになり響きのある安定した声で歌えるようにしていきます。無理に声を出すことをせず、呼吸法を学び、ダンスにも活かしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①自己紹介と授業の説明を行います。
- ②自分で好きな曲を持参して1人ずつ歌ってもらいます。
- ③腹式呼吸と胸式呼吸の違いを学び、歌うために必要な呼吸法と響鳴について勉強していきます。
- ④呼吸法を理解して、身体を楽器として使うための方法を学んでいきます。
- ⑤譜面を読む訓練を行います。読めると歌の理解が深まります。まずは調整記号なしのソルフェージュから。
- ⑥自分の身体を楽器としてコントロールする意識を持っていろいろな楽曲を深めていきます。
- ⑦課題曲を1人ずつ歌っていきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%とします。  
身体全体を楽器としてコントロールする意識が育まれ歌うときにも活かそうと努力しているかを評価していきます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧口蓋を上げ、開く練習をしてよりよい声の出し方を勉強していきます。
- ⑨舌、唇、表情筋を動かすトレーニングを行います。力任せではなく発声のしやすさを覚えていきます。
- ⑩様々なサウンドを聴き分けられる耳を持つためのトレーニングをしていきます。
- ⑪調整記号の付いた譜面を読みます。（ソルフェージュ）
- ⑫頭で理解している事を身体に定着させるためには反復トレーニングを行います。
- ⑬英語曲にチャレンジします。カッコよく歌うためには英語トレーニングは必須。母音と子音の関係性について学びます。
- ⑭ネイティブな発音ができるようにトレーニングをしていきます。
- ⑮課題曲を1人ずつ歌っていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%とします。  
余裕を持ってサウンドを聴くことで、自分の声の安定性をコントロール出来、今まで以上に気持ちよく歌えるようになっているか評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ヴォーカルパフォーマンスⅡ
担当講師名	嶋村祐子
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

SONY など大手レコード会社や事務所でレッスン（剛力彩芽・入山杏奈等）を行い、アーティストのレコーディング参加、ライブレッスンを行っている実務経験があります。また、本校卒業生のプライベートレッスンも行っています。

#### 授業内容

発声の基礎を定着させ『身体が楽器』という意識を持たせます。ダンスもヴォーカルも音を感じて身体で表現するにはテクニックが必要です。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

『音』を感じて表現するのはダンスもヴォーカルも同じ！ダンスのリズム感や表現力を歌につなげて身体全体で自分らしく歌えるようにしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①中音域と低音域を学び、それぞれの音域を出せるようにトレーニングしていきます。
- ②高音域・ファルセットについて学びます。無理なく出すためのトレーニングを行っていきます。
- ③高音域・ファルセットと地声の違いを学びます。それぞれの音域、出し方のトレーニングを行っていきます。
- ④それぞれの音域を、滑らかに声を繋げられるようにトレーニングしていきます。
- ⑤譜面を見ながら voice change を行います。自分の声を譜面で確認してみます。
- ⑥色々な楽曲のモチーフの理解を深めて歌うときに説得力をつけていきます。
- ⑦課題曲を1人ずつ歌っていきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%とします。

Voice Change などのテクニックを手に入れ更に深みのある表現力へ繋げているかを評価していきます。曲ごとのモチーフも理解しているか評価していきます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧16Beat と After Beat について学んでいきます。それぞれのリズムを出せるようにトレーニングしていきます。
- ⑨歌詩を伝える為のテクニックを習得していきます。
- ⑩発声の基礎も表現力も Groove で繋がります。それを理解して体現できるようにしていきます。
- ⑪引き続き Groove について学び、繋げていけるようにトレーニングしていきます。
- ⑫頭で理解していることを身体に繋がられるようにトレーニングしていきます。譜面も使用していきます。
- ⑬更に深めていき定着させられるようにトレーニングを行っていきます。
- ⑭考えて行うのではなく身体全体で感じて歌えるようにトレーニングを行っていきます。
- ⑮自分で選んだ曲を持ってきてここまで学んだ事を披露してもらいます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%とします。

【音を感じて踊る】というダンサーとしての強みを歌でも活かし「音を感じてのびのび楽しく歌う」事が出来ているかを評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	パフォーマンス総合制作 I
担当講師名	山崎拓也
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はファッションショーのステージングや舞台・ミュージカルの総合振付を行う実務経験をもちます。

#### 授業内容

構成の立て方・演出のつけ方・表現方法・振付の仕方を体験し、作品制作のノウハウを掴んでいきます。皆とのディスカッションを通じて個々の表現の幅を広げ、オリジナルを追求した作品作りをしていきます。実際に人前で踊ることを経験し見ている人の反応を体感して作品制作を行っていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

全員が振付を経験する事により構成の立て方、演出のつけ方、振付の仕方、伝え方などを覚え、2年生に上がるまでに自分の振付に対する自信をつけます。初めて振付を行う学生にとって最初は難しく感じるかもしれませんがどんどん自分から発信をして度胸をつけていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①大まかな作品制作の手順を説明し、参考作品を見て自分たちで作る作品のイメージを創っていきます。
- ②課題曲制作を行う為、グループ分けをします。グループ毎に話し合いをして方向性を決めていきます。
- ③曲の流れを掴み、カウントを書き出してグループ毎に構成を考えていきます。
- ④振付を考えて振付のアイデア出し合いそれを形にしていきます。
- ⑤全体の流れを作り、更に構成を練って振付を行っていきます。
- ⑥クォーター末試験の為に作品の最終確認をして直しや踊りこみを行っていきます。
- ⑦ホールでグループ毎に作品発表を行います。発表後、各グループの作品についてディスカッションをしていきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験（作品制作） 30%、平常点 30%

作品を創るには仲間とのコミュニケーションを取る事が大切です。時間の使い方、作品制作への姿勢、グループとして機能していたか評価していきます。また、日頃の態度(遅刻、マナーなど)も重要視していきます。

#### 授業計画（8回目から 15回目）

⑧1 クォーターの反省会を行い、2 クォーターのグループ作品のプランを話し合い決めていきます。

⑨本番までの日程を逆算してリハーサルを組み、何をいつまでに行うかのスケジュールを立てていきます。

⑩踊る場所や内容を理解して作品のイメージを膨らませていき、振付を行っていきます。

⑪照明の専門用語・効果などを勉強していきます。その効果を踏まえて作品の構成を考えます。

⑫どんな衣装で踊りたいか話し合います。作品や振付にあった衣装になるように皆で案を出していきます。

⑬作品の隅々までしっかりと作り込まれているか動画を撮って確認していき、修正を行っていきます。

⑭クォーター末試験の為に作品の最終確認をして直しや踊りこみを行っていきます。

⑮ホールでグループ毎に作品発表を行います。発表後、各グループの作品についてディスカッションをしていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験（作品制作） 30%、平常点 30%

自分たちで考えたプラン通りの作品が作られているか、ステージの形状を理解した振付・構成になっているかを評価していきます。また照明案も提出してもらい照明効果が振付・構成にあった内容になっているかも評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	パフォーマンス総合制作Ⅱ
担当講師名	山崎拓也
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はファッションショーのステージングや舞台・ミュージカルの総合振付を行う実務経験をもちます。

#### 授業内容

3 クォーターでは 12 月に行う《クリスマスライブ》で上演する作品制作を行っていきます。また、企画・運営・実施も自分達で行いクリエイティブな仕事について学んでいきます。

4 クォーターではソロ作品作成を行います。自分の好きなジャンルだけではなく様々な振付に対応できるようにしていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

3 クォーターでは 12 月に行う《クリスマスライブ》で上演する作品制作を行っていきます。また、企画・運営・実施も自分達で行いクリエイティブな仕事について学んでいきます。

4 クォーターでは課題曲のソロ・グループ作品作成をしていきます。クライアントの要望に応えられるよう様々なジャンルの楽曲で行っていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

①イベントコンセプトを決めて全体の演出内容を決めていきます。並行して上演する作品内容を決めていきます。

②仕事の役割を決めていきます。並行して上演する作品の音を決め作品作りも進めていきます。

③宣伝するためのチラシの作成をしていきます。宣伝方法も案を出し合っていきます。並行して作品制作も行っていきます。

④照明・音響・ステージスタッフに決定事項を伝えていきます。口頭ではなく書類を作成して伝えていきます。

⑤作品制作を進めていきます。ビデオに撮り、演出が細かいところまで行き届いているか確認していきます。

⑥照明プランを提出して作品内容・演出にあっているかの最終確認を行っていきます。作品の踊りこみもしていきます。



⑦クリスマスライブ本番を想定して衣装を着て作品発表を行います。動画撮影を行い細かい修正を行い本番に備えます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験（作品制作） 30%、平常点 30%

積極的に意見やアイデアを出し行動できていたかを評価していきます。クリスマスライブの制作スタッフとしても自分の仕事を責任持って行っていたかも評価していきます。

#### 授業計画（8回目から 15回目）

⑧来年度の秋公演の為にクリスマスライブの反省会を行います。組織として動けていたかなどそれぞれの報告をしていきます。

⑨シチュエーションを決めて自分が得意とするジャンル・曲でソロ作品の制作を行います。

⑩制作した作品の発表を行います。動画撮影をして自分の踊りを客観的に見て課題を見つけていきます。

⑪全員同じ楽曲でのソロ作品制作を行います。その後、グループ分けを行いそれぞれの作品制作を行います。

⑫グループ作品制作の発表を行い各グループの作品についてディスカッションをしていきます。その後、全員での作品制作を行います。

⑬イベントを企画してそれに沿った作品内容の制作を行います。構成・演出もイベント内容に沿わせて行きます。

⑭引き続き振付作業を行っていきます。その作品に合った照明プランの提出もしていきます。

⑮制作した作品を衣装付きで発表します。動画を撮影して作品に対しての意見を出し合いディスカッションしていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験（作品制作） 30%、平常点 30%

2週間に1回の発表になるので適当な振付になっていないか、曲にあった作品制作が出来ているかを評価していきます。全員での作品制作は自分の意見が言えて積極的に貢献しているかを評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	舞台公演制作 I (集中講座)
担当講師名	山崎拓也
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はダンス学科公演の舞台監督を担当しています。

#### 授業内容

自分たちが踊る舞台面を 1 から作り、スタッフワークを理解し将来、自分がダンサーとして舞台に立つ時、コレオグラファーとして作品制作をする時に必要な知識を身につけていきます。

#### 到達目標 (この授業で何ができるようになるのか)

舞台用語を覚え、公演出演時に迷うことのないようにしていきます。  
リノリウムの敷き方も覚えていきます。

#### 授業計画 (1 回目から 7 回目)

- ①ダンサーにとって必要な舞台用語を覚えます。
- ②舞台上で使われる用語を覚えます。
- ③舞台の機構などの用語を覚えます。
- ④照明機材や照明の効果の勉強をします。
- ⑤リノリウム (ダンスマット) について勉強します。
- ⑥リノリウムの敷き方を見て覚えます。
- ⑦実際にリノリウムを敷いていきます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 50%、試験 0%、平常点 50%  
試験は行いません。出欠率、講座に対する態度や仕事を覚えているかを評価していきます。

#### 授業計画 (8 回目から 15 回目)

- ⑧自分たちだけで敷いて、2 年生に最終チェックをしてもらいます。

- ⑨リノリウムの巻き方をみて覚えます。
- ⑩実際にリノリウムを巻いていきます。
- ⑪自分たちだけで巻いて、2年生に最終チェックをしてもらいます。
- ⑫袖幕について勉強します。
- ⑬袖幕の付け方を見て覚えます。
- ⑭実際に袖幕を付けてみます。
- ⑮袖幕のバラシ方を覚えて実際にバラしていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 50%、試験 0%、平常点 50%

試験は行いません。出欠率、講座に対する態度や仕事を覚えているかを評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	舞台公演制作Ⅱ（集中講座）
担当講師名	山崎拓也
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はダンス学科公演の舞台監督を担当しています。

#### 授業内容

自分たちが踊る舞台面を1から作り、スタッフワークを理解し将来、自分がダンサーとして舞台に立つ時、コレオグラファーとして作品制作をする時に必要な知識を身につけていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

箱馬の組み方や平台の組み方を覚え一通りの仕込み・バラシを行えるようになります。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①箱馬について勉強します。
- ②箱馬の組み方を見て覚えます。
- ③実際に箱馬を組んでみます。
- ④平台について勉強します。
- ⑤平台の組み方を見て覚えます。
- ⑥実際に平台を組んでみます。
- ⑦箱馬と平台を組み合わせてみます。

#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 50%、試験 0%、平常点 50%

試験は行いません。出欠率、講座に対する態度や仕事を覚えているかを評価していきます。

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧箱馬と平台をバラシ、舞台を元通りにしていきます。
- ⑨仕込みの順番を覚えていきます。

- ⑩バラシの順番を覚えていきます。
- ⑪2年生と一緒に一通りの仕込みを行います。
- ⑫2年生と一緒に一通りのバラシを行います。
- ⑬1年生だけで一通りの仕込みを行います。
- ⑭1年生だけで一通りのバラシを行います。
- ⑮ダンサーとして、コレオグラファーとして舞台公演制作の必要性の説明をしていきます。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 50%、試験 0%、平常点 50%  
試験は行いません。出欠率、講座に対する態度や仕事を覚えているかを評価していきます。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ダンスインストラクション I
担当講師名	武井一仁
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

俳優としての演劇活動を経て、ダンサーやインストラクター、振付師、ダンススタジオ経営等、長きにわたっての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

ダンスの「指導法」を身につけていきます。指導とはそのほとんどが観察力とコミュニケーションです。いかに自分の思っていることを相手に伝えるか、自分の発する言葉に説得力があるかが、非常に重要になっていきます。また、人の発表を分析し自身の参考にしましょう。発表後は、みんなでディスカッションし確認作業を行います。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

1・2 クォーターでは、自分の作った振付を、クラスメートに伝えることから始めましょう。まだ「指導する」段階ではありません。自分の頭の中にあるものを、クラスメートの身体を通して具体化していく作業を経験しましょう。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①これからやる授業で内容について説明していきます。まずイメージを持ちましょう。
- ②1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。テンション高く進めるよう心掛けてください。
- ③1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒のテンションを上げられるようにしましょう。
- ④1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。大きな声でしっかりと行ってください。音楽の音量も重要です。
- ⑤1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。緊張すると思いますが、落ち着いて進行しましょう。
- ⑥1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。進行の速度が適切だったか、テンポよく進行出来たかもポイントです。
- ⑦1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒が見やすいように立ち位置を変えたりラインチェンジをしましょう。

### 中間試験評価方法・評価基準

出席 20%、発表内容 50%、平常 30%

試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。観察力、分析力などを磨きましょう。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。その場を仕切って上に立っているかが重要です。
- ⑨1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。時間の配分は計算できているか確認しましょう。
- ⑩1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒の観察がしっかり出来るよう集中しましょう。
- ⑪1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒を良く観察し適切な注意を与えましょう。
- ⑫1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒が覚えやすいように振付を進行しましょう。
- ⑬1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒全体を対象に説明出来たかも大事なポイントです。
- ⑭1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。口調は指導者として適切か確認しましょう。
- ⑮1 人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。楽しく汗をかけるレッスンだったか内容をチェックしましょう。

### 期末試験評価方法・評価基準

出席 20%、発表内容 50%、平常 30%

試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。

観察力、分析力などを磨きましょう。

### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ダンスインストラクションⅡ
担当講師名	武井一仁
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

俳優としての演劇活動を経て、ダンサーやインストラクター、振付師、ダンススタジオ経営等、長きにわたっての実務経験を持ちます。

#### 授業内容

3クォーターでは引き続き1人ずつのコンビネーションの振り移しを行いますが、春学期よりも「指導」を意識しましょう。4クォーターでは3人1組で指導を行います。1人がリーダーを、2人がアシスタントを受け持ち、連携して指導することにチャレンジしてください。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

事前に指導の計画を立てて、その通り実行していきます。特に4クォーターでは、3人の連携をしっかりと取りましょう。現場では予期せぬことが起こりますので、臨機応変に対応出来るよう、周囲をよく観察し、空気を読み進行するように心がけましょう。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。踊りながらカウント出来るかも大きなポイントになります。
- ②1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。明確なカウントが取れるように心がけましょう。
- ③1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒が真似しやすいように振付をクリアに踊りましょう。
- ④1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。またレッスンを受けたくなるような盛り上がる内容にしましょう。
- ⑤1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。質問を受け付けたか、適切に応えることもじゅう重要了。
- ⑥1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。生徒を観察し、覚えられない人へのフォローをしましょう。
- ⑦1人ずつ順番にコンビネーションの振り移しを行います。人前に立つ覚悟は出来てきたか確認しましょう。



#### 中間試験評価方法・評価基準

出席 20%、発表内容 50%、平常 30%

試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。

観察力、分析力などを磨きましょう。

#### 授業計画（8回目から15回目）

⑧3人1組でコンビネーションの指導に当たります。事前に進行内容をしっかりと計画し丁寧な指導をしましょう。

⑨3人1組でコンビネーションの指導に当たります。計画したことを実践できたか、臨機応変な対応が出来たかも重要です。

⑩3人1組でコンビネーションの指導に当たります。役割分担は確立できたかがポイントになります。

⑪3人1組でコンビネーションの指導に当たります。リーダーとしてアシスタントを使えたかを確認しましょう。

⑫3人1組でコンビネーションの指導に当たります。アシスタントとしてリーダーをサポート出来たかを確認しましょう。

⑬3人1組でコンビネーションの指導に当たります。3人の連携は上手くいったかを確認しましょう。

⑭3人1組でコンビネーションの指導に当たります。3人の立ち位置は適切か、連携に注意しましょう。

⑮3人1組でコンビネーションの指導に当たります。3人で生徒をフォローし、より良い指導が出来たかが重要です。

#### 期末試験評価方法・評価基準

出席 20%、発表内容 50%、平常 30%

試験は特に実施しません。発表内容や授業に対する取り組み方、積極的発言などを評価していきます。3人の連携や対応力を養いましょう。

#### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	コンピューターリテラシー I
担当講師名	有馬知章
学期	春
授業の形態	講義
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

大学での研究（音響工学）、シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサーとしての音楽制作業務、マルチメディアコンテンツ制作業務、Web デザイナーの経験があります。

#### 授業内容

コンピュータの基本操作を覚え、身近な道具としてコンピュータを活用していくための基礎をとなる能力を修得します。第 1 クォーターはプロフィール作成を中心に、第 2 クォーターではフライヤー制作を中心に学習していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

Word を使用して、写真を含むプロフィールを完成させます。Photoshop を使用してダンスイベントのフライヤーを完成させます。

#### 授業計画（1 回目から 7 回目）

- ① オリエンテーション。授業内容の説明をします。
- ② コンピュータの基本事項について学習します。
- ③ 文字を入力する練習をしながら、ワープロソフトの基本機能を学習します。
- ④ プロフィール作成作業。テキスト部分を入力します。」
- ⑤ スマホで写真を撮りコンピュータに取り込みます。
- ⑥ 写真・文章を配置してプロフィールを作成します。
- ⑦ プロフィールを完成させて提出します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

作品提出。授業内容を理解しているか確認します。

欠席 5 点、遅刻 3 点を減点します。

出席 25% 平常点 25% 試験 50%

#### 授業計画（8 回目から 15 回目）

- ⑧ Photoshop の基本操作を学習します。
- ⑨ 写真の色の修正、サイズの変更などを学習します。
- ⑩ レイヤー機能について学習します。
- ⑪ 文字の入力とその装飾方法について学習します。
- ⑫ 画像の特殊な効果について学習します。
- ⑬ フライヤー作成作業。
- ⑭ フライヤー作成作業。
- ⑮ フライヤーを完成させ提出します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

課題提出。授業内容を理解しているか確認します。  
欠席 5 点、遅刻 3 点を減点します。  
出席 25% 平常点 25% 試験 50%

#### 特記事項

学科名	ダンス学科
科目名	コンピューターリテラシー II
担当講師名	有馬知章
学期	秋
授業の形態	講義
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

大学での研究（音響工学）、シンセサイザー・プログラマー、サウンドプロデューサーとしての音楽制作業務、マルチメディアコンテンツ制作業務、Web デザイナーの経験があります。

#### 授業内容

ダンス用の楽曲を、自分で用意したり、楽曲を編集したりすることができるように、音楽の制作の基礎について学習していきます。III クォータでは MIDI 楽器を使ってのコンピュータによる楽曲制作について、IV クォータでは簡単なオーディオ編集、ループの作成について、学習していきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

DTM ソフト Cubase を使って、MIDI データの作成、オーディオファイルの編集を習得し、ダンス用の BGM を自分で作れるようになります。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ① オリエンテーション。授業内容の説明をします。
- ② Cubase の基本事項について学習します。
- ③ ドラムパートのデータの作成を学習します。
- ④ ベースパートのデータの作成を学習します。
- ⑤ 指定したパターンとオリジナルパートを作成します。
- ⑥ 指定したパターンとオリジナルパートを作成します
- ⑦ 作成したファイルを提出します。

#### 中間試験評価方法・評価基準

作品提出。授業内容を理解しているか確認します。  
 欠席 5 点、遅刻 3 点を減点します。  
 出席 25% 平常点 25% 試験 50%

#### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧ コンピュータで音を編集する仕組みについて学習します。
- ⑨ CDの音源をPCに読み込む方法を学習します。
- ⑩ PCに読み込んだ音源を編集します。
- ⑪ オーディオをファイルからテンポを抽出します。
- ⑫ オーディオをファイルとMIDIデータを作成し、リミックスします。
- ⑬ 任意の楽曲を編集します。
- ⑭ 任意の楽曲を編集し、リミックスを作成します。
- ⑮ 作成した作品を提出します。

#### 期末試験評価方法・評価基準

課題提出。授業内容を理解しているか確認します。  
欠席5点、遅刻3点を減点します。  
出席25% 平常点25% 試験50%

#### 特記事項

学科名	ダンス学科
科目名	ヒップホップ I
担当講師名	山崎拓也
学期	春
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はキッズから大人まで幅広い年齢層でダンスレッスンを長年行ってきた実務経験を持ちます。

#### 授業内容

ヒップホップダンスの基礎を中心に学んでいきます。リズムの取り方(アップ・ダウンなど)、体の部分部分を独立させて動かすアイソレーションを覚えていきます。難しく見えるステップも1つ1つ解説しながら頭ではなく体で覚えていきます。

#### 到達目標 (この授業で何ができるようになるのか)

リズムトレーニングではアップとダウンの違いを理解できるようにします。アイソレーションは部分的に独立させて動かすにはどこを意識しなければならないかを考えながら行い体に染みつかせていきます。それだけが単体で出来るようになったら振付に反映できるようにしていきます。

#### 授業計画 (1回目から7回目)

- ①基本中の基本のアップとダウンを覚えます。アップとダウンを行いながら2ステップ、4ステップなども行っていきます。
- ②首、胸、肩、腰のアイソレーションを覚えます。どこに力を入れると動くかなど体の仕組みも理解します。
- ③リズムキープをしたままアイソレーションを行っていきます。2つの事を同時に出来るように反復練習します。
- ④ヒップホップの代表的なステップを覚えていきます。ただステップを踏むのではなくリズムキープが出来るように練習します。
- ⑤リズム重視のステップを覚えます。リズムキープが出来る事が目標で更にアイソレーションも入れられるようにしていきます。
- ⑥ここまで習った事を応用した振付を覚えて自分なりのヒップホップを表現していきます。
- ⑦短い振付を覚えて少人数ずつ発表していきます。アドバイスをして自分の動きの幅を広げていきます。

### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%

アップとダウンの違い、アイソレーションを理解できているか、ステップもただ踏むのではなくリズムを理解しながら踏めているかを見ていきます。また、日頃の態度(遅刻、マナーなど)も重要視していきます。

### 授業計画 (8回目から 15回目)

- ⑧リズム取りとアイソレーションの向上をしていきます。自分で理解して使い分けが出来ているか確認していきます。
- ⑨リズムキープをしたままステップの練習をしていきます。アップなのかダウンなのか自分で感じながら練習していきます。
- ⑩アイソレーションを使いリズムキープしたままステップ練習をしていきます。3つの動きを同時に出来るか確認していきます。
- ⑪今まで習ってきたステップの応用をしていきます。アップ・ダウンと2つのリズムで同じステップ練習を行っていきます。
- ⑫リズムが複雑なステップを覚えます。しっかりとリズムを刻みながらステップが踏めるように練習していきます。
- ⑬ヒップホップで使われる技を覚えていきます。形、流れを理解して正しい形で技が出来るように練習します。
- ⑭前回学んだ技を振付の中で行えるようにしていきます。技単体ではなく流れの中で行えるように練習します。
- ⑮技、ステップが入っている振付を覚えて発表していきます。それぞれが単体にならず1つの流れとして見せられようにしていきます。

### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%

1 クォーターで学んだ事を理解して使いこなす事ができているかを評価してきます。また新しいステップや技など最初は出来なくても諦めないで何度も挑戦していく姿勢も評価のポイントとしていきます。

### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	ヒップホップⅡ
担当講師名	山崎拓也
学期	秋
授業の形態	演習
専攻/楽器/グレード等	

#### 担当科目に関連する実務経歴

講師はキッズから大人まで幅広い年齢層でダンスレッスンを長年行ってきた実務経験を持ちます。

#### 授業内容

ヒップホップをさらに追求していきます。ステップ、ボディコントロール、音に対するアプローチなど学んでいきます。楽曲にあった体の使い方、踊り方を学んで自分の踊りの幅を広げていき、いろいろな表現が出来るようにしていきます。

#### 到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

踊りの中で緩急をつけられるようにただ踊るのではなく体の使い方を理解し、いろいろな曲を聴いてその曲に合った踊り方が出来る事を目標とします。ただ体を動かすのではなく自分で意識をして形を表現できるようにしてそれが無意識に出来るようにしていきます。

#### 授業計画（1回目から7回目）

- ①テンポの遅い曲で踊ります。曲が遅いので、体を大きく使わないと音が余ってしまうのでいつもよりも大きく踊ることを心がけます。
- ②テンポの速い曲で踊ります。曲が速いので、体が流れないように体を締めて正確に踊れるように心がけます。
- ③曲によって音の取り方ニュアンスが変わってくるのでそれに対応した踊り方が出来るようにしていきます。
- ④体を痛めないフロアーへの入り方を覚えます。体の使い方、流れを理解してスムーズに行えるようにします。
- ⑤2クォーターで習った技とフロアーを合わせていきます。単体の動きにならずに流れを意識していきます。
- ⑥ステップ→フロアー→技の流れをスムーズに行えるようにしていきます。1つ1つ単体の動きにならに用につけます。
- ⑦ステップ→フロアー→技が入った振付を覚えて発表します。すべての流れを理解しスムーズに行えるようにします。



### 中間試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%

自分なりでいいので曲のイメージ、遅い曲、速い曲などその曲にあった踊り分けを出来ているかを評価していきます。フロアー、技は出来なくても怖がらずに挑戦をしていく姿勢があるかを評価していきます。

### 授業計画（8回目から15回目）

- ⑧振付を覚えるスピードを鍛えていきます。少ない振り入れで正確に振付を覚えられるようにしていきます。
- ⑨グループ分けをして振付にフォーメーションをつけていきます。振付だけではなく立ち位置も正確に覚えられるようにしていきます。
- ⑩振付に構成をつけていきます。自分がどのタイミング踊るか理解できるようにしていきます。
- ⑪グループ毎に発表をします。人に見られていても自分の踊りが出来ていて正確に踊れるようにしていきます。
- ⑫グループ分けをして前回よりも長い振付を覚えていきます。自分のパートを正確に踊れるようにします。
- ⑬振付の中にソロパートを作るのでそこを自分で考えて作ってみます。自分の最大限を出せるようにします。
- ⑭踊りこみをしていきます。発表の時に着る衣装を話し合い決めていきます。
- ⑮衣装付で発表を行います。1年間のまとめとしてどんな1年だったか、2年に上がったらどうなりたいか発表します。

### 期末試験評価方法・評価基準

出席 40%、試験 30%、平常点 30%

今まで習ってきた事や応用した振付をグループ毎に覚えて人前で踊る度胸をつけていきます。

1人で踊るのではなくグループの皆で踊っていることを感じてチームとして踊れているかを評価していきます。

### 特記事項

通常、対面授業で行いますが、状況により必要な場合はオンライン又はオンデマンドでの対応を予定しております。

学科名	ダンス学科
科目名	インターンシップ I
担当講師名	
学期	春
授業の形態	実習
専攻/楽器/グレード等	

担当科目に関連する実務経歴

授業内容

学科が認める学外活動（外部公演、メディア等への外部出演、企業研修など）を行います。

到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各々の進路を踏まえた学外活動、企業研修を体験することにより、卒業後の進路への準備、オーディション等の合格レベルに達する技術の習得を目標とします。

授業計画（1回目から7回目）

中間試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します。

授業計画（8回目から15回目）

期末試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します

特記事項

特別な状況下においては、学外活動や企業研修が実施されない場合もありますのでその点はご了承ください。

学科名	ダンス学科
科目名	インターンシップⅡ
担当講師名	
学期	秋
授業の形態	実習
専攻/楽器/グレード等	

担当科目に関連する実務経歴

授業内容

学科が認める学外活動（外部公演、メディア等への外部出演、企業研修など）を行います。

到達目標（この授業で何ができるようになるのか）

各々の進路を踏まえた学外活動、企業研修を体験することにより、卒業後の進路への準備、オーディション等の合格レベルに達する技術の習得を目標とします。

授業計画（1回目から7回目）

中間試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します。

授業計画（8回目から15回目）

期末試験評価方法・評価基準

外部活動に対しての積極性、向上心、責任感、仕事に対する姿勢、また、オーディション結果等を評価します

特記事項

特別な状況下においては、学外活動や企業研修が実施されない場合もありますのでその点はご了承ください。